

平成25年度の各会計決算を審査する決算特別委員会(平賀守委員長、大原健副委員長・9月24日～26日)での質疑(Q)と答弁(A)のいくつかを要約して紹介します。

質疑 あれこれ

地方交付税合併算定 替後の対策は

Q 地方交付税の合併算定替による特例措置が平成27年度で終了し交付税が減少するが、それに備えた財政基盤づくりを25年度でどう進めたか。

A 特例措置の終了で約20億円減少する。そのため基金の積み立てを行い、市民サービスが低下しないよう対応してきたほか、市税の収納率向上、使用料、手数料、補助金、負担金の見直し、民間委託の推進、公共施設の適正管理等に取り組んだ。

合併特例債の発行額 と主要事業は

Q 合併特例債の25年度発行額と主要事業は。

A 発行額は6億1410万円。主な充当事業は、まちづくり基金に3億8000万円、3路線の市道整備に1億410万円、消防屯所や消火栓の設置に4870万円、消防車両等の取得に3540万円などである。

木造住宅耐震化推進 事業の実績は

Q 同事業の耐震診断を受けても過去2カ年に補強の実績がない原因をどう考えるか。

A 耐震補強の補助金を受けるには、補修後に一定の強度を持った数値まで補強しないと対象とならず、高額な工事費が必要となることも一つの要因と考える。

住宅リフォームの経 済効果と税収は

Q 景気刺激策として実施した住宅リフォーム事業の効果と税収との関係はどうとらえているか。

A 同事業が直接所得に反映しているかどうか今の段階ではつかないが、24年度は結果として所得は全体的に上がっており、その一部に貢献しているものと考えている。

高齢者福祉サービス 基盤整備の待機者は 第5期介護保険事業

Q 第5期介護保険事業

空き家の適正管理の 状況は

Q 空き家に関するアンケート調査が実施されているが、課題分析と、その結果にどのように対応していくか。

A 緊急性の高いものをピックアップし、文書や口頭で管理をお願いしている。また、国の対策の動向を見ながら、人命にかかわるような空き家がある場合には、消防本部と

連携し速やかに対応していく。

大迫中学校の改築の 発注方法は

Q 基本設計の段階からプロポーザル方式に取り組むことはできないか。

A スケジュールを組む中で、基本設計と実施計画を分離する方法がいいのか、あるいは、当初から業者まで選定する方法がいいのか、という発注

の方法がいいのか、できるだけ早く改築が完了できるような方法を検討していく。

公共交通のバス路線 を守る対策は

Q 公共交通のバス路線を守るための市独自の支援対策の考えはあるか。

A バスの運行支援として補助するとともに、廃止路線に対してはデマンド交通を拡大する。既存のバス路線の存続についても、地域住民が利用できるような対策がないか検討したい。

放射性物質の焼却状 況の説明は

Q 清掃センターで焼却している放射性物質を運びたほだ木について、その状況を地域住民に説明しているか。

A 毎月、放射性物質濃度の検査を実施し、その結果を知らせている。濃度は基準値を大幅に下回っており、特に問題となる状況ではない。



活用方法が問われる「まん福」跡

「まん福」跡の今後の 活用方法は

Q 建物の持つ価値を生かし登録文化財として活用するための条例制定などについて市民と話し合った経緯はあるのか。

A まん福の持つ意匠については、請願等があった時点で専門家の意見を伺ったようだが、さまざまな案が出た後、意見は伺っていない。条例制定により建築基準法の適用除外を受けた場合、用途変更が生ずる。市全体の文化財を整理し、専門家などいろいろな方々の意見を伺うことが必要と考えている。

小学生医療費助成事 業の検証は

Q 小学生医療費助成事業の検証はどのようになされているか。

A 昨年7月に対象小学生世帯に通知を送付した結果、申請割合は76.3%であった。未申請の理由は不明だが、広報等で再三お知らせをしている。



花巻市清掃センター(矢沢地内)

小中学校の就学援助 費の状況は

Q 小中学校の就学援助費の交付人数と金額を伺う。県内、全国と比較してどうか。

A 要保護、準要保護児童生徒合わせて、本年4月1日現在で447人、全児童生徒に占める割合は5.56%であり、小学校は1547万9091円、中学校は2172万5622円交付している。全

いじめ対策の具体的 な取り組みは

Q いじめ対策について現場でさまざまな研修会が行われていると思うが、平成25年度の具体的な取り組み状況はどうか。

A 生徒指導連絡協議会での共通理解を図り、また、県教育委員会あるいは各学校での研修会が実施されている。

Q 1時間に100ミリ以上の降雨は傾斜に関係なく土砂災害を引き起こすといわれるが、整備された遊歩道の安全対策はどうか。



整備された宮沢賢治記念館の遊歩道

A 周囲に草等の植生を進めるなど、排水対策に気をつけながら利用していきたい。